



走器 助器

遊江八景五具全

遊江八景五具全

遊江八景五具全

遊江八景五具全

遊江八景五具全

遊江八景五具全

遊江八景五具全

遊江八景五具全



武器
組題

近江八景山見立

錦連

勢田の
おぼろ

懸臺

文
塙

か
こ

る
り



さ
ら

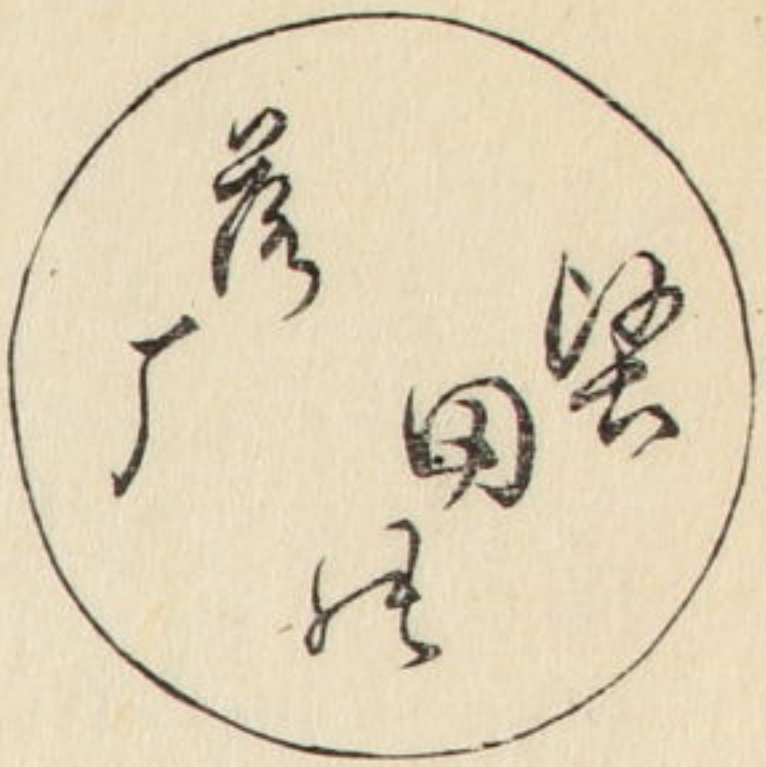
あ
ら

ね
の

目



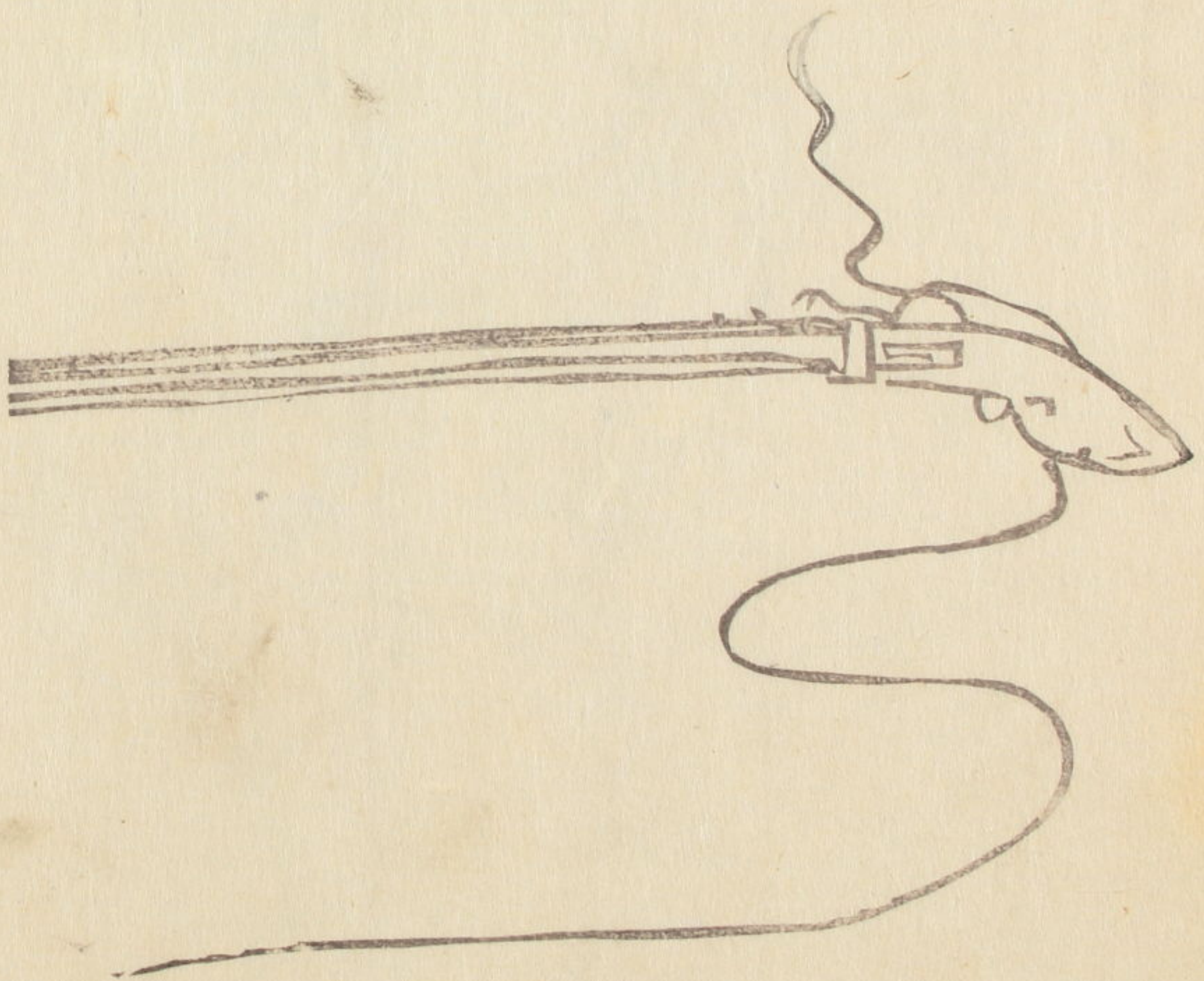
中ノ二十三



長尾

も軍人

借つては
大の久



海軍

海軍

海軍

海軍

海軍



海軍

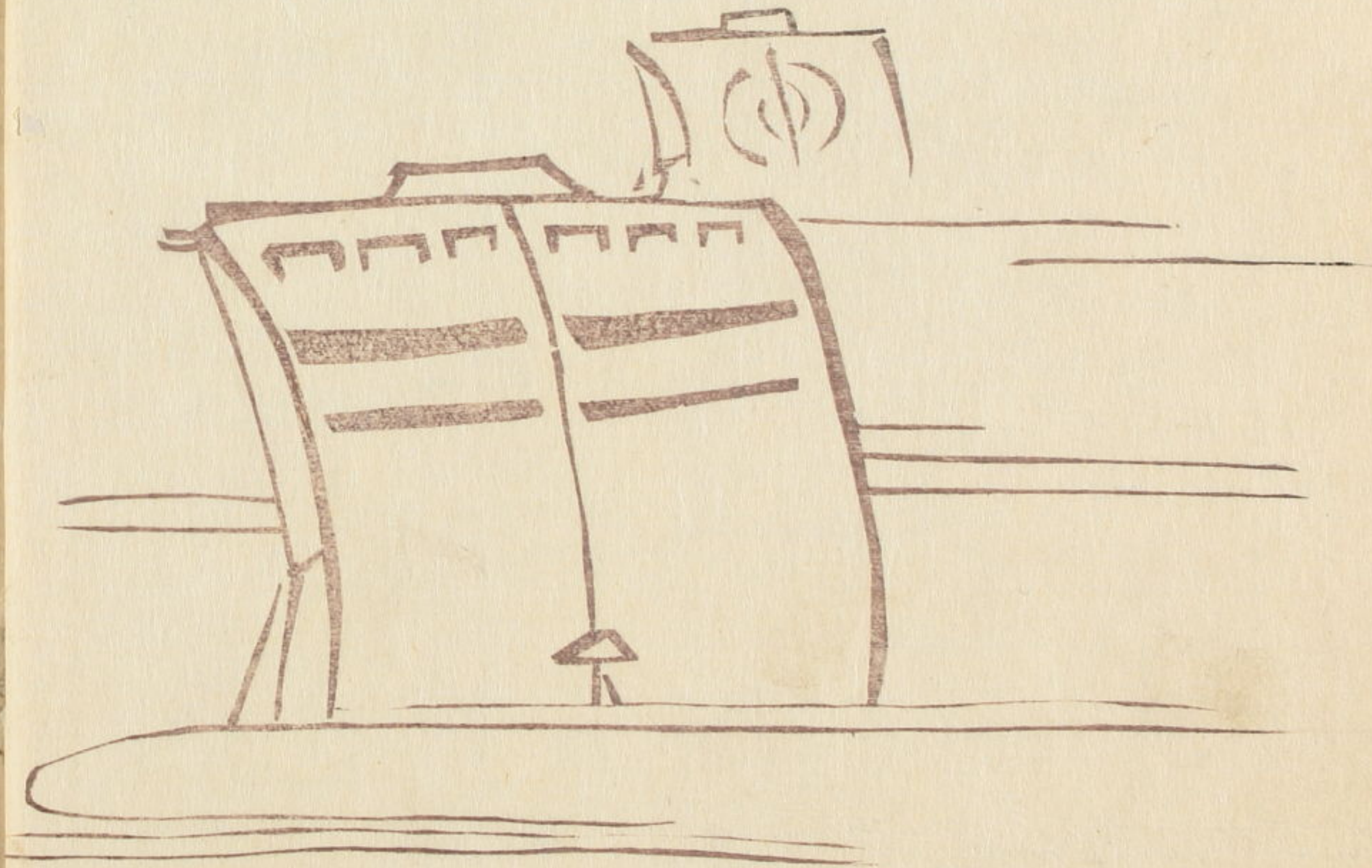
舟橋の
帰帆

毫山

是はよて

舟橋の

目指し



舟橋の

舟橋の
目指し

舟橋

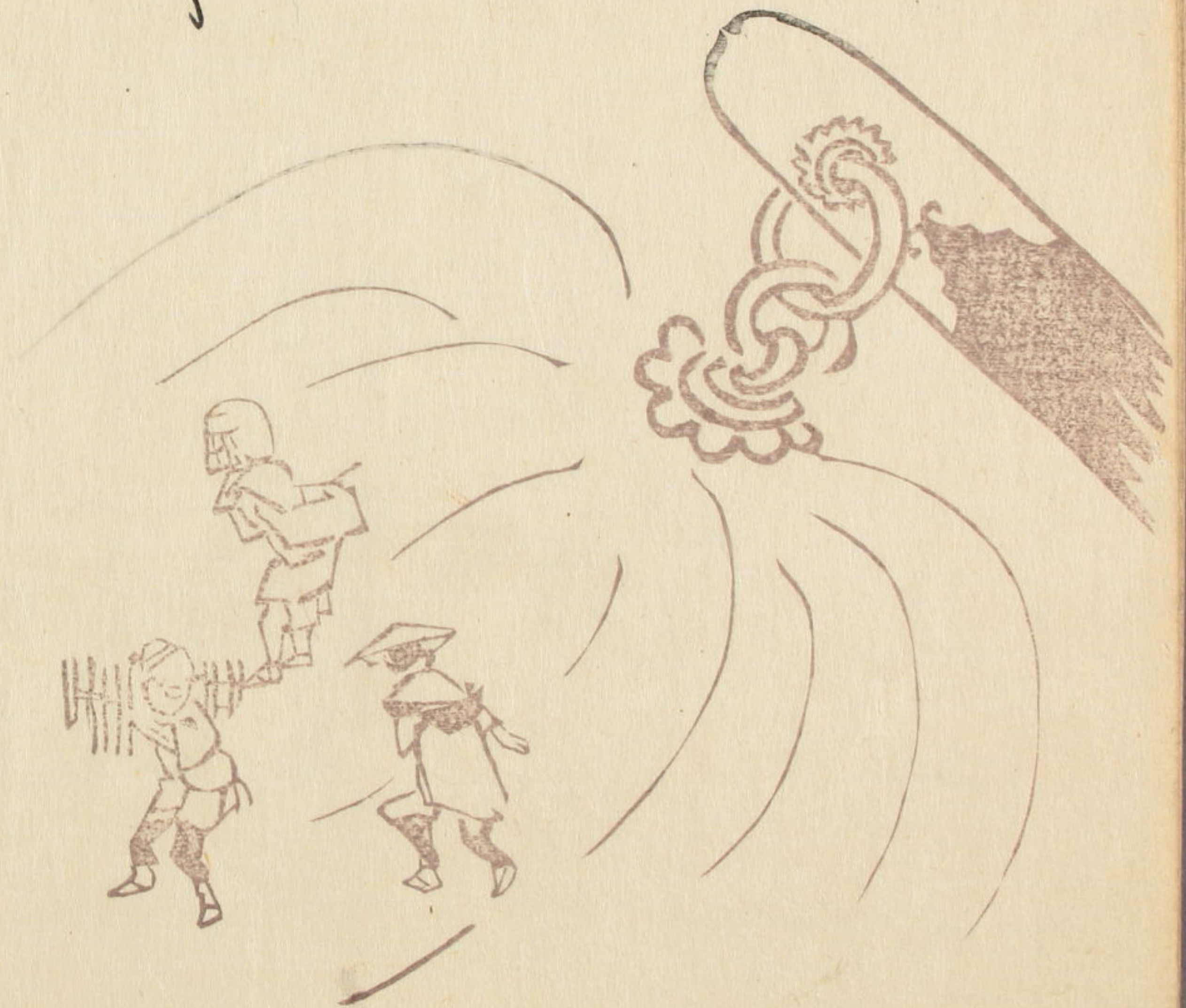


暮
比
香

信
子

進
め
て
い
り
し
ま
す

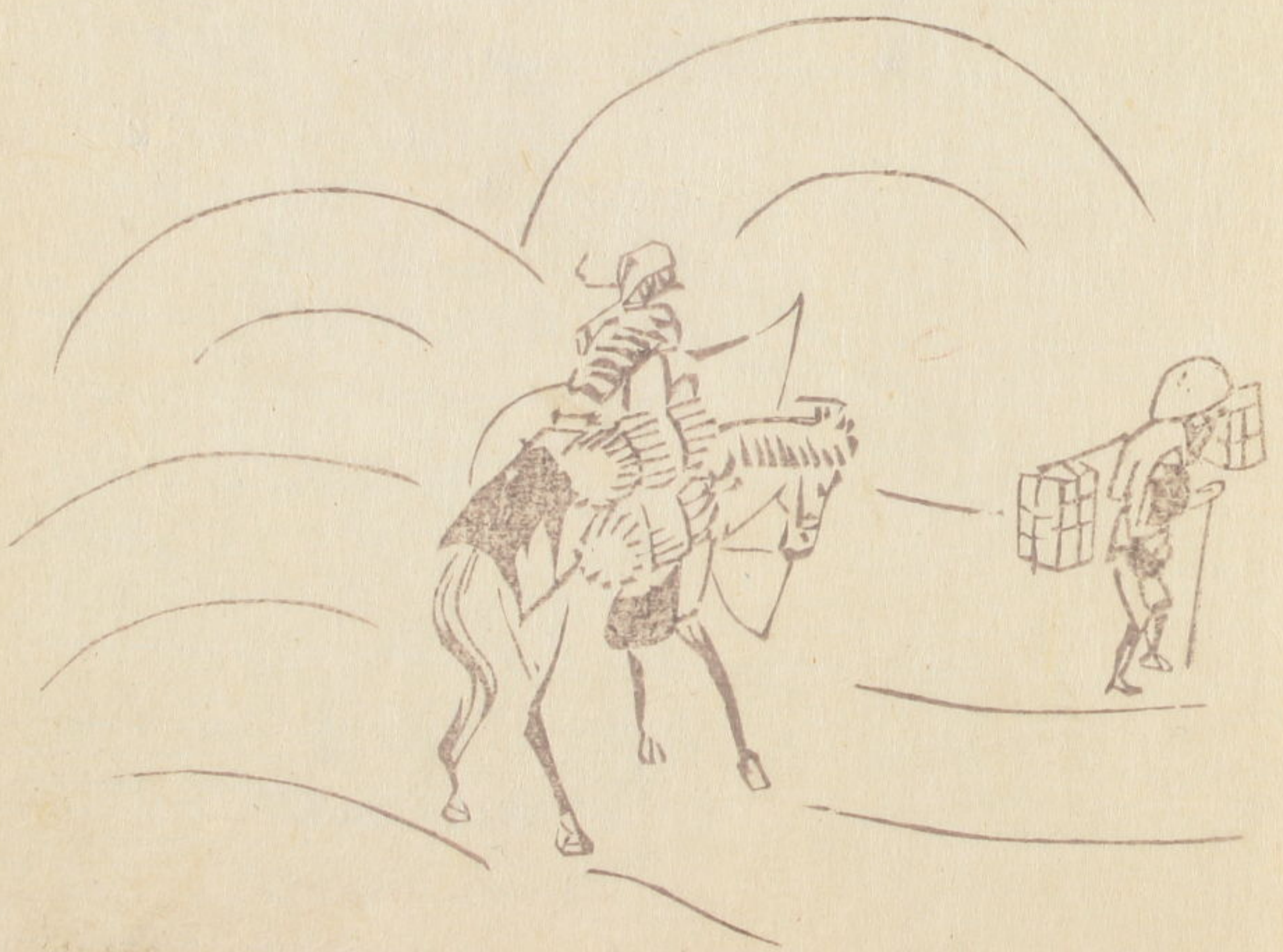
あ
ま
り
の
ま
は
ら



う
ま
し
い

あ
ま
り
の
ま
は
ら

新
埴



中ノ二十七

三升
小瓶



~~~~~  
~~~~~

字
心

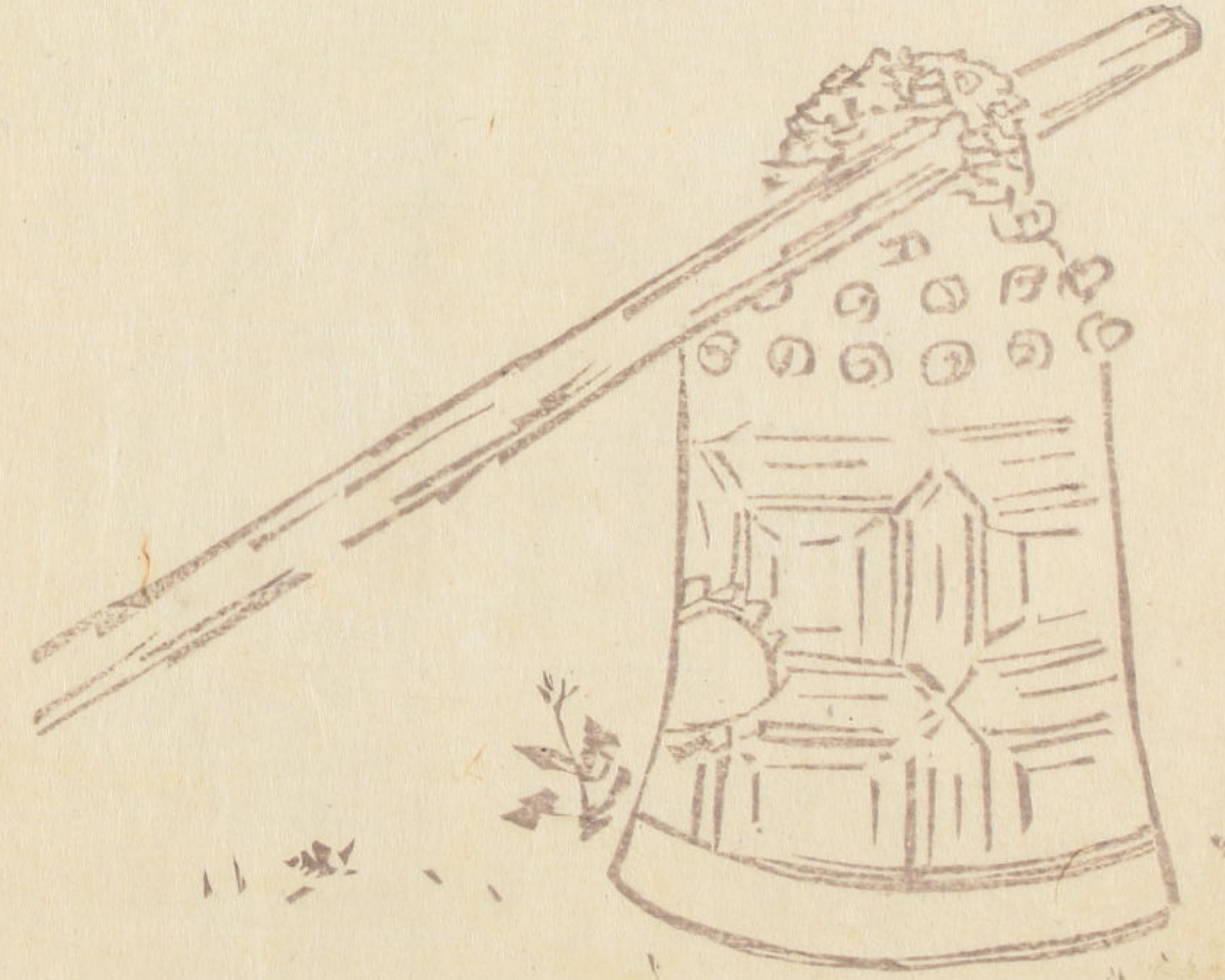


カキタ

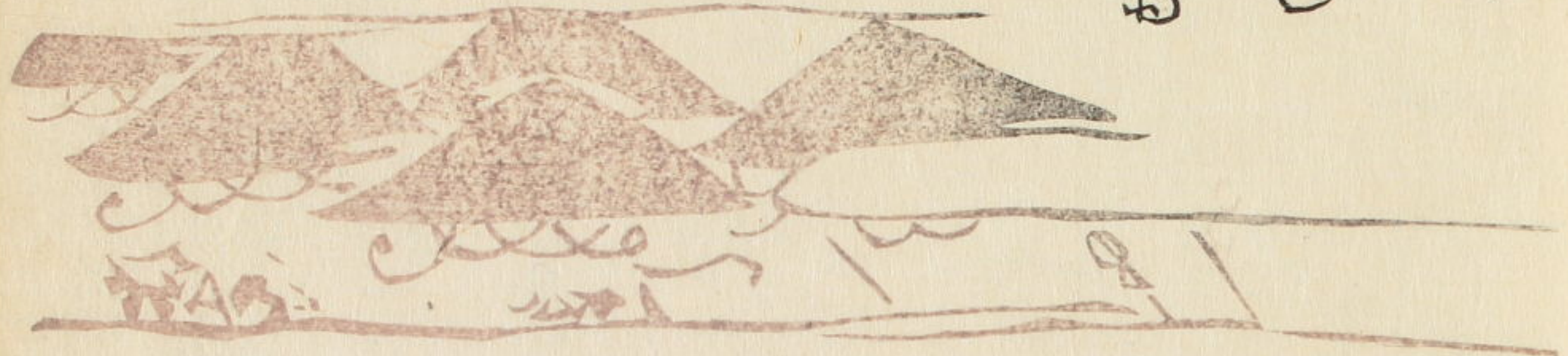
~~~~~

~~~~~

~~~~~



乃 新 乃  
新 乃  
乃 新

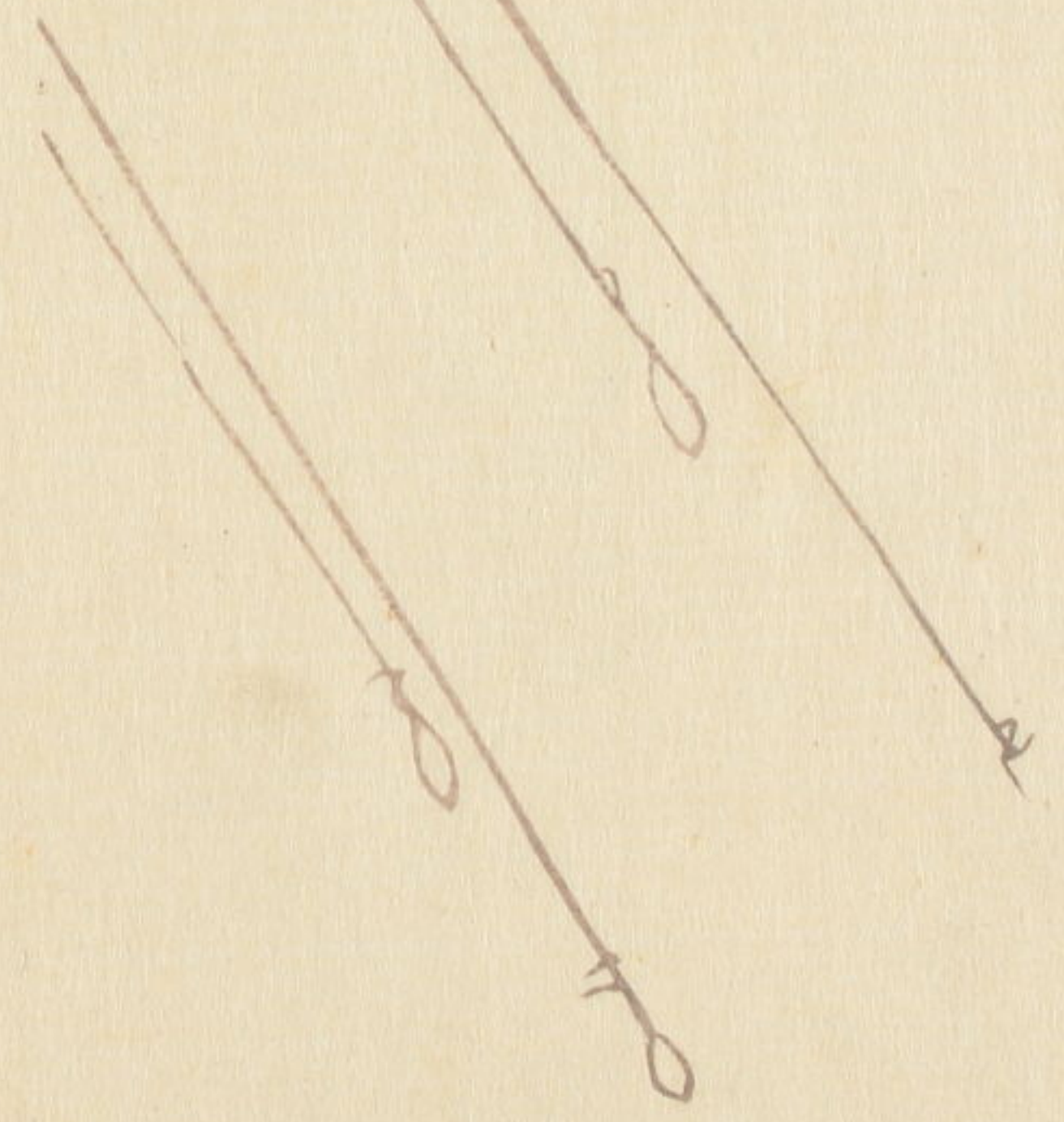


中ノ二十九

あまのり  
あまのり  
あまのり  
あまのり

招月

苗 行 々

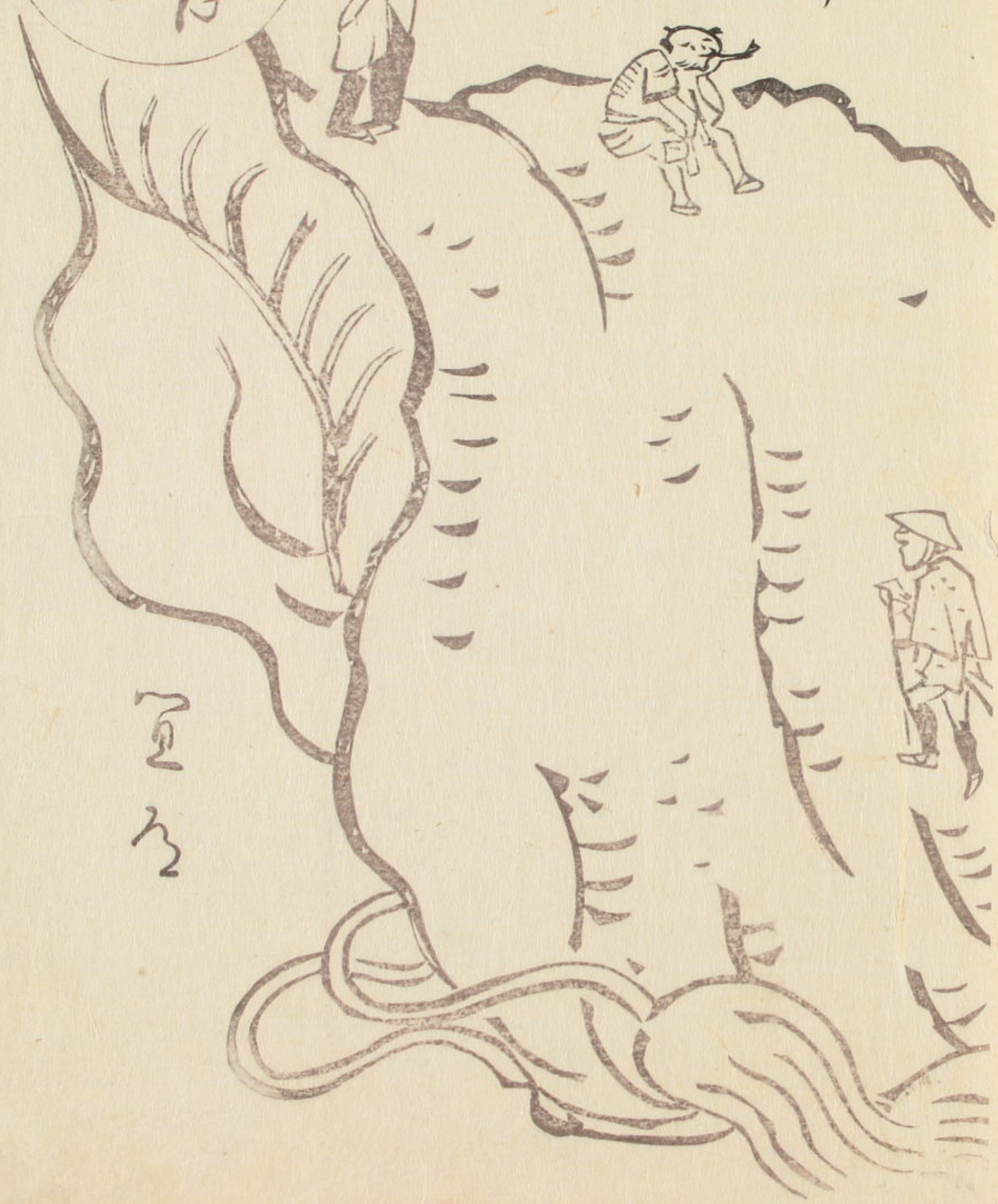


あまのり  
あまのり  
あまのり  
あまのり

招月



石山の  
結序



5  
3  
2

中  
三  
十

三  
三



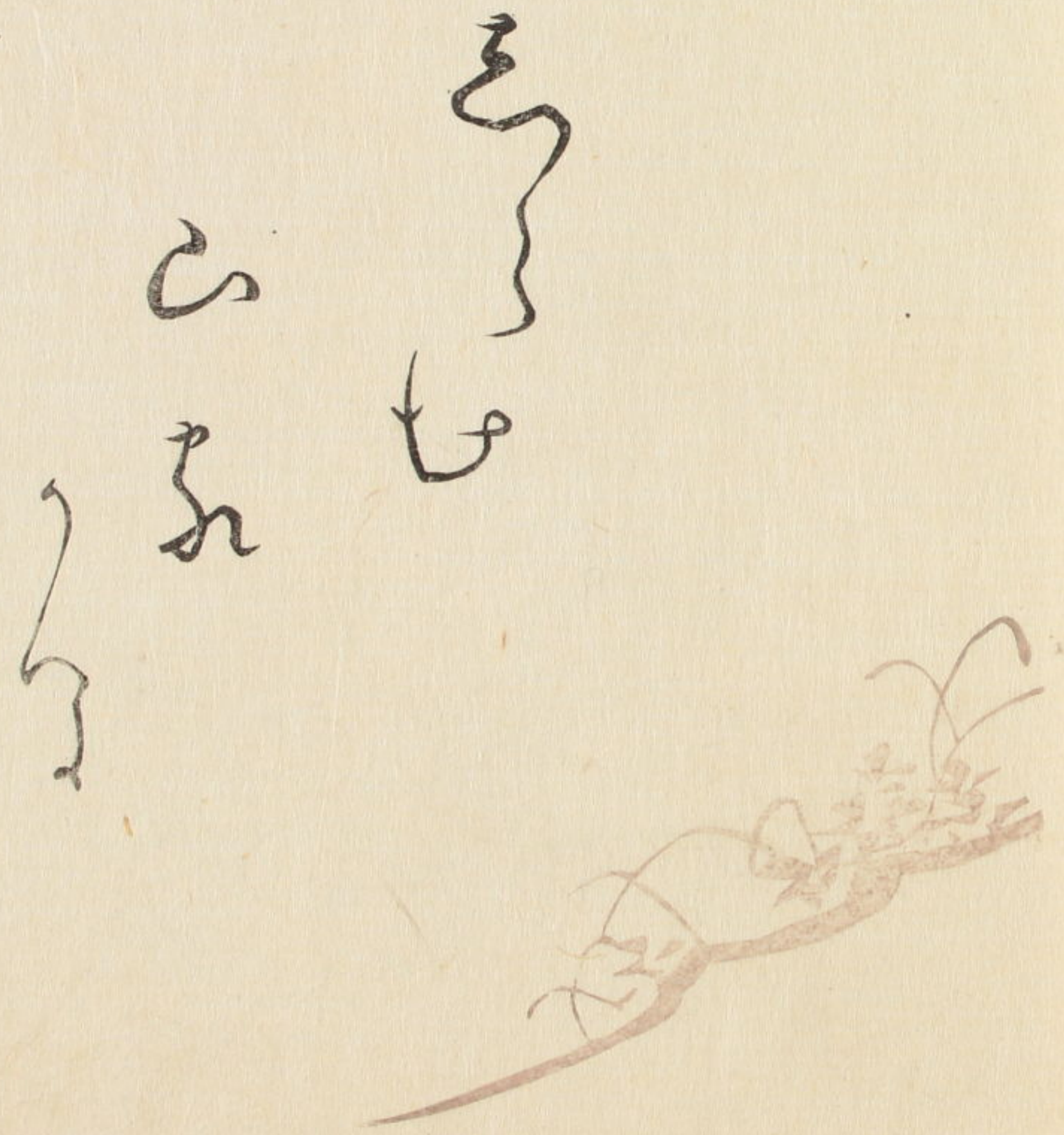
2  
1

3  
2  
1

2  
1

2  
1

2  
1



中ノ三十一

興 卷  
昔 咄 之 卷  
三十一

心  
心  
心  
心

心  
心  
心  
心



全あけ

しんがら

一積

ちんがら

小まのちん

しんがら



しんがら

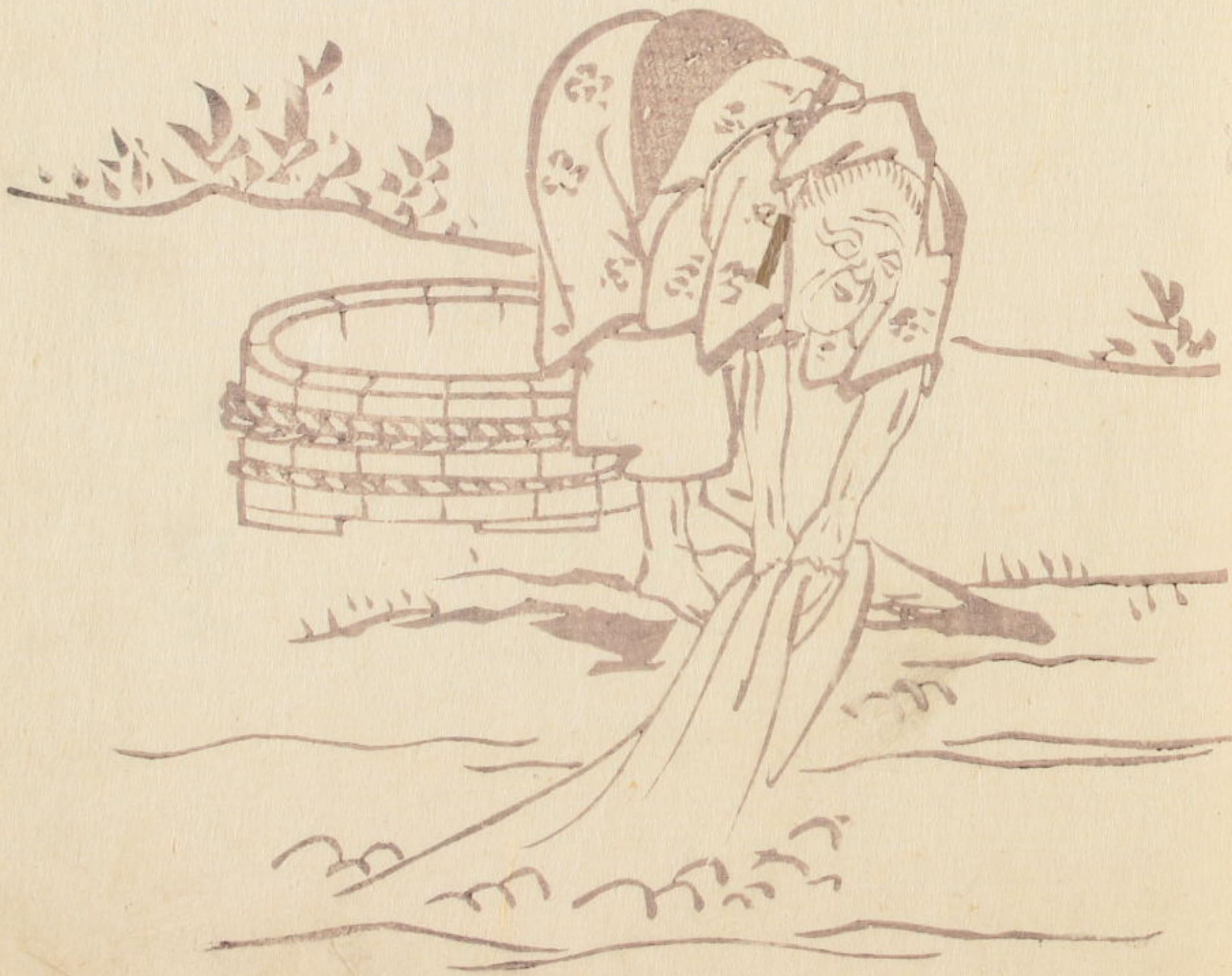
ちんがら

しんがら

しんがら

全野寺

声はる



松のぼた

松のぼた

全  
巴由尾  
松のぼた



中三十三

松のぼた

松のぼた

全  
松のぼた

松のぼた

松のぼた



全  
一  
鳥  
籠  
籠

うさぎ

月

鳥籠



鳥籠

鳥籠

鳥籠

工

鳥籠

鳥籠



二羽

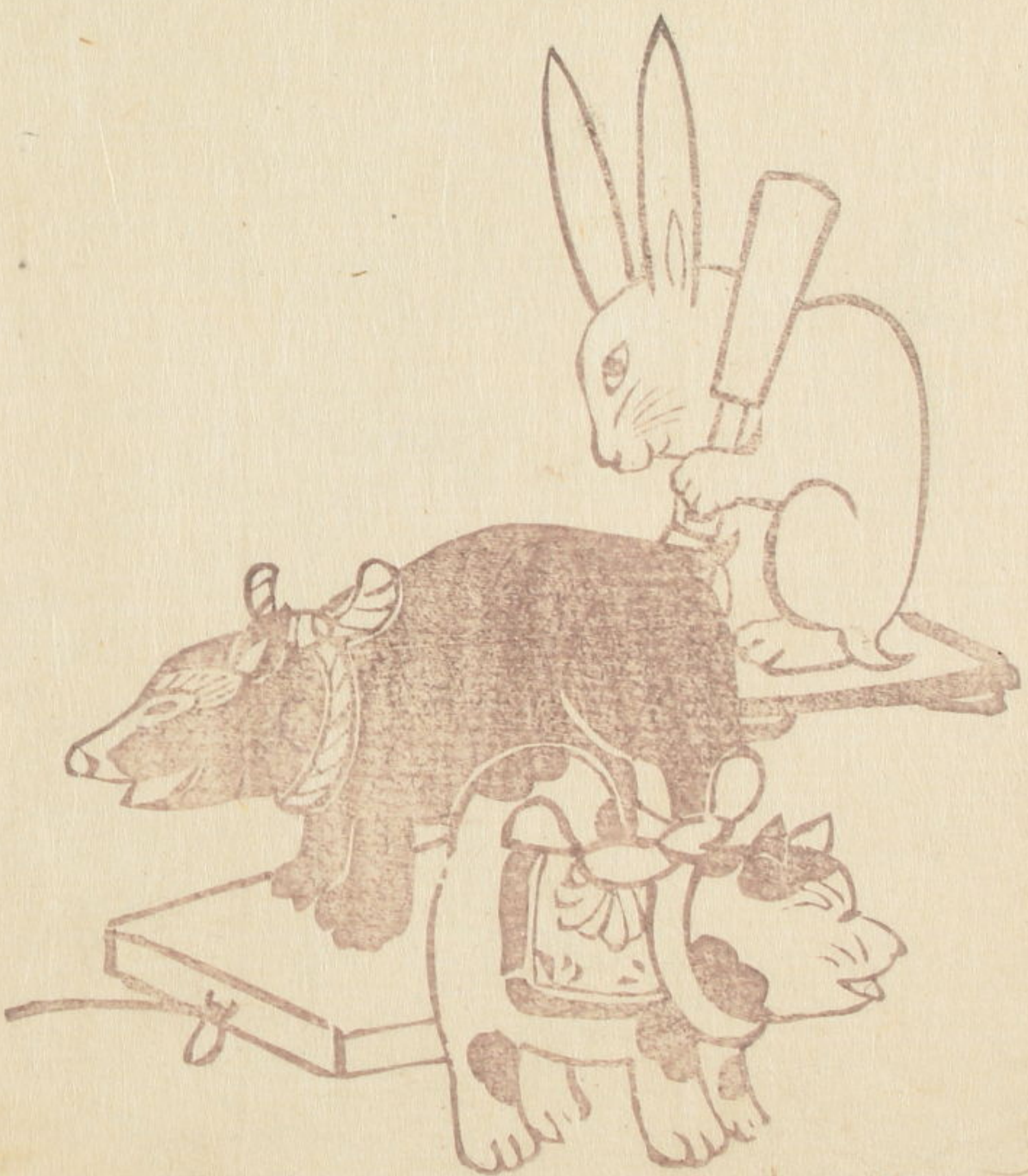
核子

しづ

るるめ

とろろおや

おとろ



ふの

今

おとろ

おとろ



おとろ

おとろ

おとろ

おとろ

海合と

うさ

巾

二好形

二云彦彦

海



海

海合と

海合と

うさ

海合と

巾

尾羽横書

之何有聲

字之尾

增故

之何有聲

之何有聲

之何有聲



之何有聲

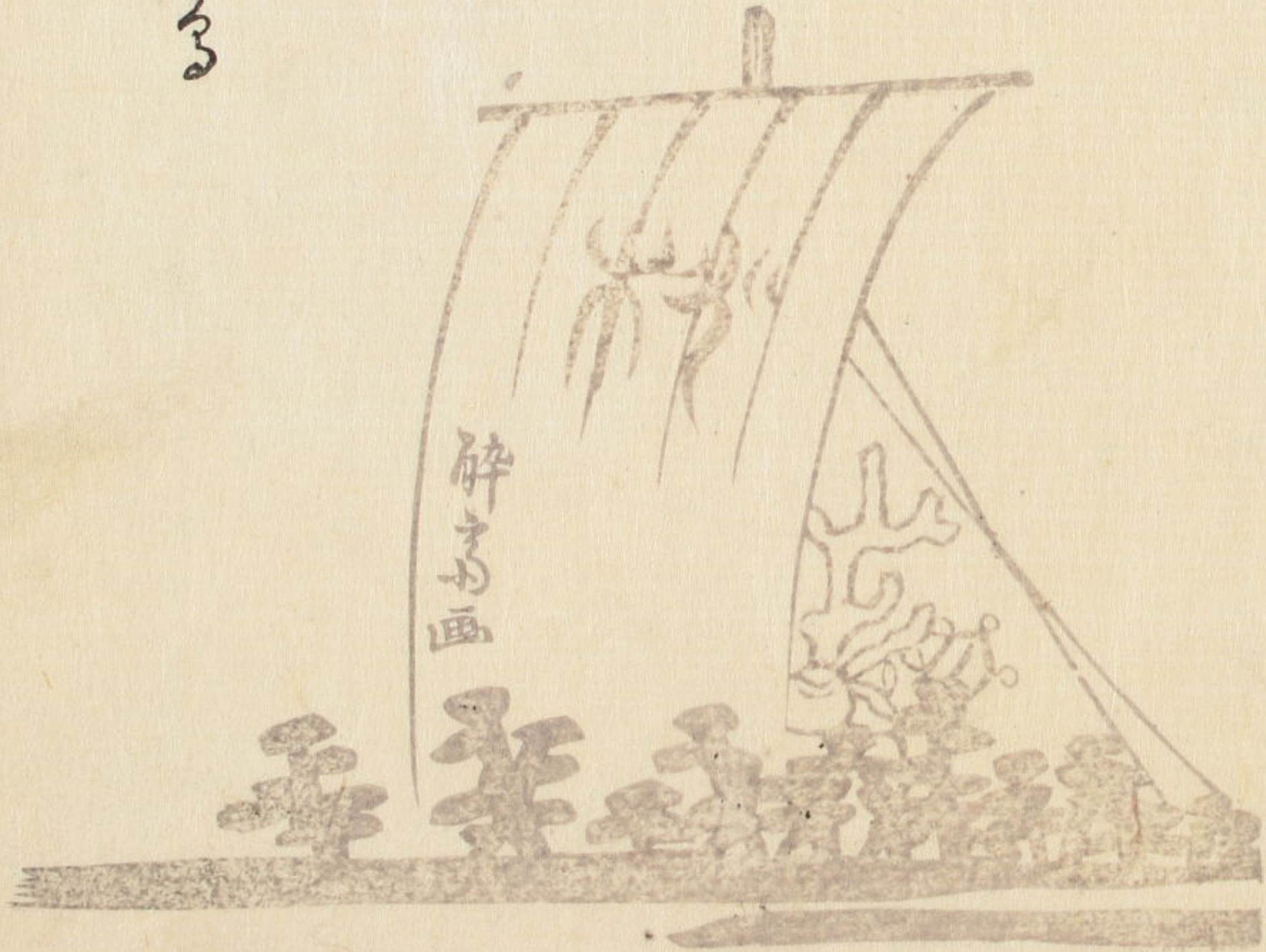
之何有聲

之何有聲

之何有聲

之何有聲

之何有聲



醉之何有聲







年  
源  
川

一  
盤  
文  
坊

取  
目

とり  
お

と  
れ  
の  
お  
お  
よ

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い  
文  
坊

大  
級  
の  
種  
は  
鈴  
や  
和  
日  
乳

心  
を  
の  
と  
り  
よ  
し  
の  
屋  
様  
喜  
山

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い  
の  
お  
お  
よ  
と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い  
文  
坊

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い  
喜  
山

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い  
喜  
山

と  
れ  
は  
あ  
ら  
じ  
い

丁年  
加田街

中野町

こま

和詩入言宛白

日の名も暗き

あはれなるかた

夏より秋の

縁ははらへ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

手  
相  
結

手  
解  
結  
手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結

手  
結



|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |

~~~~~

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |

| | |
|-------|-------|
| ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ |

~~~~~

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |
| ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ | ~~~~~ |

~~~~~

~~~~~

五  
十

五  
十

五  
十

五  
十

五  
十

五  
十

五

五  
十

五

五  
十

五

五  
十

五

五  
十



子  
子  
田

平  
函  
目  
目

MS

Handwritten text in a cursive style, possibly a signature or a specific note.

Handwritten text in a cursive style, appearing to be a list or a series of notes.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference.

目

Main body of handwritten text in a cursive style, consisting of several lines of notes or a list.

下ノ九

又此のるをばあせしむる  
 一止んてまゝにあらま  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか

二

此のるる俗いふきうの  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか  
 ちりていふにけすのふか

昔よあしひのうらなむるまうりや

昇

あつてまふてこゝ又取れと

昇

小新より後より後の子とま

昇

あつてまふてこゝ又取れと

昇

しんがらまのひの月陰まふ

全

あつてまふてこゝ又取れと

昇

あつてまふてこゝ又取れと

昇

あつてまふてこゝ又取れと

昇

二カ

子ノ目しんがらまのひの月陰まふ

昇

あつてまふてこゝ又取れと

昇

あつてまふてこゝ又取れと

全

あつてまふてこゝ又取れと

昇

あつてまふてこゝ又取れと

あつてまふてこゝ又取れと

目

あつてまふてこゝ又取れと

目

五卯  
砥川

如所産者



之  
名

和  
書

丁  
分  
子  
書  
印

石  
子  
書  
印

水  
石  
書  
印

石  
子  
書  
印

石  
子  
書  
印

石  
子  
書  
印

石  
子  
書  
印

石  
子  
書  
印

よき時

清近庵定目

二  
三

らんらん中馬のまわ

あやかし

組歌  
あきあき  
あきあき  
あきあき

花白

あやかし中馬のまわ

きき

あやかし中馬のまわ

きき

あやかし中馬のまわ

月五

あやかし中馬のまわ

月五

あやかし中馬のまわ

○

あやかし中馬のまわ

了也言

女白坊



# 陀婆記

衆とて一に一にの衆あり一音の衆あり  
 移れあつたおよ一して一は一は一は  
 是の入り向ふ一人もあはれあはれとて  
 一と一と一と一と一と一と一と一と一と  
 一と一と一と一と一と一と一と一と一と

一と一と一と一と一と一と一と一と一と  
 かつこれ曰く衆あり心の神の懐よとて  
 親愛する角衆あり一は一と一と一と  
 衆愛する子衆あり一と一と一と一と  
 一と一と一と一と一と一と一と一と一と  
 或る人の衆の衆れおと一と一と一と  
 目ものは衆衆と一と一と一と一と

和師  
飯田町

幻養庵貞琴

ハ  
ハ

ハ  
ハ

ハ  
ハ

ハ  
ハ

ハ  
ハ

貞琴

ハ  
ハ

ハ  
ハ

ハ  
ハ

ハ  
ハ

ハ  
ハ

年江  
下谷

橋遊唐紙月

江戸橋

入江八景

上野橋

勅額ハ何カニテ橋ノ下ニテ下

台ノ下ニテ

来テ折れト留ルル橋ノ下ニテ橋

天ノ下ニテ

又カハニテ下ニテ谷ノ下ニテ

名高シク書

上野ノ橋ノ下ニテ下ニテ下

下野ノ橋

下野ノ橋ノ下ニテ下ニテ下

下野ノ橋

下野ノ橋ノ下ニテ下ニテ下

下野ノ橋

下野ノ橋ノ下ニテ下ニテ下

小全井秋目

月カ小全井ノ下ニテ下ニテ下



と 長  
長

九 遊 庵 一 右

川 遊

~~~~~

~~~~~

亭 伝 行

一 右

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

右 一 次 下 略

~~~~~

~~~~~

春樹  
春樹のま  
り喜やまのほほのま  
文志

一辭  
一辭  
急水

目水  
目水  
有辭

和十

三平 終

るハの如く振ルさしむ  
一着の海を渡る人

皆集りてらふよと

行く路をわたり

武治のうた

三平 終